

すべての労働者の立場にたって働き方を見直そう！  
「底上げ・底支え」「格差是正」でクラシノソコアゲ！



# 2018春季生活闘争ニュース

2018. 3. 14 第4号 発行責任者 連合北海道組織労働局

## 連合北海道、石狩地協、札幌地区連合 合同街頭宣伝実施



連合北海道 出村会長

### 暮らしの底上げ、底支え！ 格差是正！！

連合北海道は第1(3/12～16)、第2(3/19～23)先行組合回答ゾーン期間における街頭行動を全道各地で展開しているが、3月14日、JR札幌駅西口で石狩地協・札幌地区連合と合同で街頭宣伝を実施し、月例給にこだわる賃金引き上げや働く者の立場に立った働き方改革の実現への理解を求めた。



連合北海道石狩地協  
吉田事務局長

最初にマイクを握った連合北海道の出村会長は、暮らしが良くなっている実感はないと指摘し、「春闘で暮らしの底上げを実現したい」と決意を述べると共に、「賃金引き上げを社会全体に波及させることが最大の目的だ」と、今春闘の意義を語った。また、働き方改革については「働く者の立場に立った働き方改革を実現しなければならない。長時間労働の撲滅もこの春闘で取り組んでいる」と述べ、裁量労働制の対象業務拡大と高度プロフェッショナル制度創設の撤回を目指している連合への理解を求めた。最後に、「いよいよ山場を迎える。働く者の立場に立った働き方改革、安心して暮らせる賃金を目指そう」と訴えた。

続いて石狩地協の吉田事務局長は、「社会的キャンペーンを実施し、行政、経済団体に対し賃金改善、長時間労働の是正をはじめとする労働条件の改善を訴えている」と地域の取り組みを紹介し、「底上げ、底支え、格差是正を今春闘でも実現させたい。働く者のための働き方改革となるよう地域から発信し続けていきたい」と決意を述べた。

また、国会情勢に触れて、「厚生労働省の不適切なデータ、財務省の文書改ざん、昨年の加計学園問題は安倍一強政治の疲弊が現れている」と厳しく指摘し、「安倍政権では国民目線の政治は期待できない。退場していただくしかない。春闘でもこのことを訴えていきたい。底上げ、底支え、格差是正が前進するよう石狩地協、札幌地区連合も全力で闘う」と声を張り上げた。

12日からの第1先行組合回答ゾーンでは8産別3地域33単組、第2先行組合回答ゾーンでは9産別56単組が回答指定日を設定し懸命な交渉を積み上げている。闘いは正念場、全力で闘い抜こう！



産別からの参加をいただきチラシ配布

## 有期契約労働者「無期転換ルール」相談コーナー開設

労働契約法の改正により4月1日より、有期労働契約が更新されて通算5年を超えた時に、労働者の申し込みにより、期間の定めのない労働契約(無期労働契約)に転換される「無期転換ルール」がスタートします。

連合北海道では北海道社会保険労務士会と合同で下記の通り相談コーナーを設置して、ルールの周知を図ると共に、労働者、使用者双方の相談を受けます。

日 時／2018年3月19日(月)10：00～17：00  
場 所／札幌市「地下歩行空間 憩いの広場(北2条と北3条の間)」  
内 容／使用者相談：北海道社会保険労務士会  
労働者相談：連合北海道非正規労働センター